

学級通信のすすめ

学級通信を作ってみてはどうでしょうか。今まで初任者には、授業準備等で忙しいと思い勧めてはこなかったのですが、1年が過ぎて力がついてきた今では、ぜひ学級通信作りにチャレンジしてほしいと思っています。

学級通信は、学級経営にプラスの効果をもたらし、子ども達との距離を縮め、保護者の信頼も得られるし、何よりも作っていて楽しいものです。いざやり始めると、書きたいことがいっぱい湧いてきて、はまりますよ！。

1 4月から発行

4月の学級開きから始めるのがいいと思います。4月は新しいものがスタートする時期ですので、担任の自己紹介やら、子ども達のこと、学級のこと、学校のこと等、紹介することがたくさんあります。ここで発行しておくことで、後の保護者会にも話題が生まれ、いい効果をもたらします。

ただし4月になってから書き始めたら、忙しくてたまりません。今のうちから構想を練り、春休み中にある程度レイアウトや、載せる内容を決めておくといいと思います。

2 サイズはA4

サイズは、A4かB5で1枚がいいと思います。作る方も負担が少なく、読む方も気楽に読めるので、長続きがすると思います。

B4とかだと、2ページ分作る感覚になり、負担感があり、長続きしないと思います。

3 タイトルを決める

まず学級通信の名前をどうするか、自分の気に入っている名前がいいと思います。我が子に名前をつけるように、願いや期待を込めて、自分で決めるのがいいと思います。

もう一つの方法は、最初は「学級通信」でスタートして、子ども達から名前を募集して、子ども達と共に作る方法です。名前を採用された子どもにとっては、より親しみのある通信になると思います。

4 内容はたくさんある

載せる記事は、今学級がどんな動きをしているのかが子ども達や保護者にわかる内容がいいと思います。例えば、第1号は、担任の自己紹介や学級経営の方針、週の行事予定等で1ページが完了するでしょうから、第2号からは、学級のメンバーの紹介や、集合写真等が考えられます。その他、次のようなものが考えられると思います。

(1) 学級の座席表、班編成 … 保護者は、自分の子どもがどの席に座っていて、回りに誰が座っているのか等、関心事です。

(2) 学級の係 … 掃除分担や給食当番など、確認の意味で入れておくとうい。

- (3) 月行事予定 … 学校だよりや学年だよりと重複するかもしれませんが、給食のある無しや、下校時間の詳細など、細かく書ける利点があります。
- (4) 誕生日おめでとう … 1年間かけて全員を紹介できる良さがあります。
- (5) 行事を追う … 年間を通じて、学校行事をはじめ、いろいろな行事がたくさんありますから、学級の子も達の活躍場面を紹介していけるといいと思います。
- (6) 生活ノートから … 子どもが書いた日記から、いいものをコピーして紹介する。
- (7) 表彰の記録 … 部活動の活躍の様子や、コンクール結果、表彰等の紹介。
- (8) P T A役員 … 学級通信は、保護者同士のつながりも大切ですから。
- (9) 読んでいる本の紹介 … 友達は今どんな本を読書しているのか、等の紹介。

5 発行のペースは

長く続けるには、無理のないペースがいいと思います。張り切りすぎて、発行が苦痛になるペースだと、筆が止まり失速してしまいます。

私のおすすめは2週間に1度のペース。もちろん、気持ちが乗ったときはどんどん出すという気楽なスタンスで。年間20号ぐらいがいいのではないのでしょうか。

そのうち保護者からも評判が聞こえてきますから、モチベーションが上がって号数が増えると思います。

来年の3月まで続けるためにも、年間を見通して記事の内容を予定しておくといいと思います。

ネット上には、ほぼ毎日発行しているすごい先生もたくさんいますので、検索してみてください。

6 留意点

- (1) いつ書くか … 平日は構想を練り、記事集めをしておき、土日に書くと良い。
- (2) いいことだけを書く … 「あっ、これはいいな。」と思ったことを紹介する。
自分の感覚でいいと思います。
- (3) 悪いことは書かない … 説教じみたことは書かない。当事者の子どもにとっては、書いてほしくない記事なので、以後読まなくなる。
問題行動があった場合は、別の場で解決に向けて対応すればいいので、紙ベースには残さない。
- (4) 教師の願いを書く … 生徒たちには、こういう生き方をしてほしい、こういうのは私は嫌いです、等のメッセージは出していいと思います。
- (5) 手書きもよい … ワードプロで作った文よりは、手書きの方が気持ちが伝わるし、読み手もつい目が行きます。時には手書きも良い。

- (6) 生徒の名前は平等に入れる … 自分の名前が学級通信に出るのは嬉しいものです。できるだけたくさん入れてください。平等に入れているつもりでも、後で集計してみると、片寄りがあることがあります。できるだけ意図的に入れるよう心がけましょう。
- (7) 写真を多用する … 写真はそれだけでインパクトがあり、とても効果的です。カメラを常に用意し、タイムリーに写真を撮れるといいと思います。
- (8) 余白が大事 … 字ばかりでは読みにくいものです。レイアウトや文字の大きさを変え、適当な空欄を作ると、読みやすさと心のゆとりが得られます。
- (9) 管理職に見てもらう … 誤字があったら、安っぽく見られます。もっと適切な表現があるかもしれません。問題となる表現があった場合、苦情はまず管理職に来ますから、発行前に見てもらうといいでしょう。

🟢 私が初めて学級通信を書きたいと思ったのは、ある書店で、『能重真作の学級通信 青春のドラマをつづる』（民衆社 1987）を見かけたときでした。何気なく手に取ったその本には、荒れる中学生、悩みながら生き続ける中学生を前に、担任として信念を持って学級経営に挑む姿が、実名入りで、生々しく書かれていました。毎日毎日綴られた学級通信には、担任と学級が共に成長していく葛藤や、喜びが描かれていました。読んでいくうちに、言い知れぬ感動を覚えました。

この本は立ち読みで済ませられる本ではないと思い、買いました。それ以来、私も学級通信を出してみたいと思うようになりました

